

# 広島県教育委員会における「教育課程柔軟化サキドリ研究校」への支援等

## 1. サキドリ研究校事業について

### ○調整授業時数制度とは

各学校の判断により、各教科等の標準授業時数を調整して教育課程を編成することを可能とし、生み出した時数を他教科等や「裁量的な時間」に充当可能とするもの。

### ○教育課程柔軟化サキドリ研究校事業とは

「調整授業時数制度」を先取りするような形で教育課程を編成・実施し、研究開発を行うことができる学校を文部科学大臣が指定する。

## 2. 各教育委員会、指定校の主な役割

### ○県教育委員会

サキドリ研究校の取組を把握するため、適時、指導主事を派遣するとともに、管内の学校及び市町教育委員会の参考に資するよう、研究開発の成果を可視化しつつ情報提供に努める。

### ○市町教育委員会

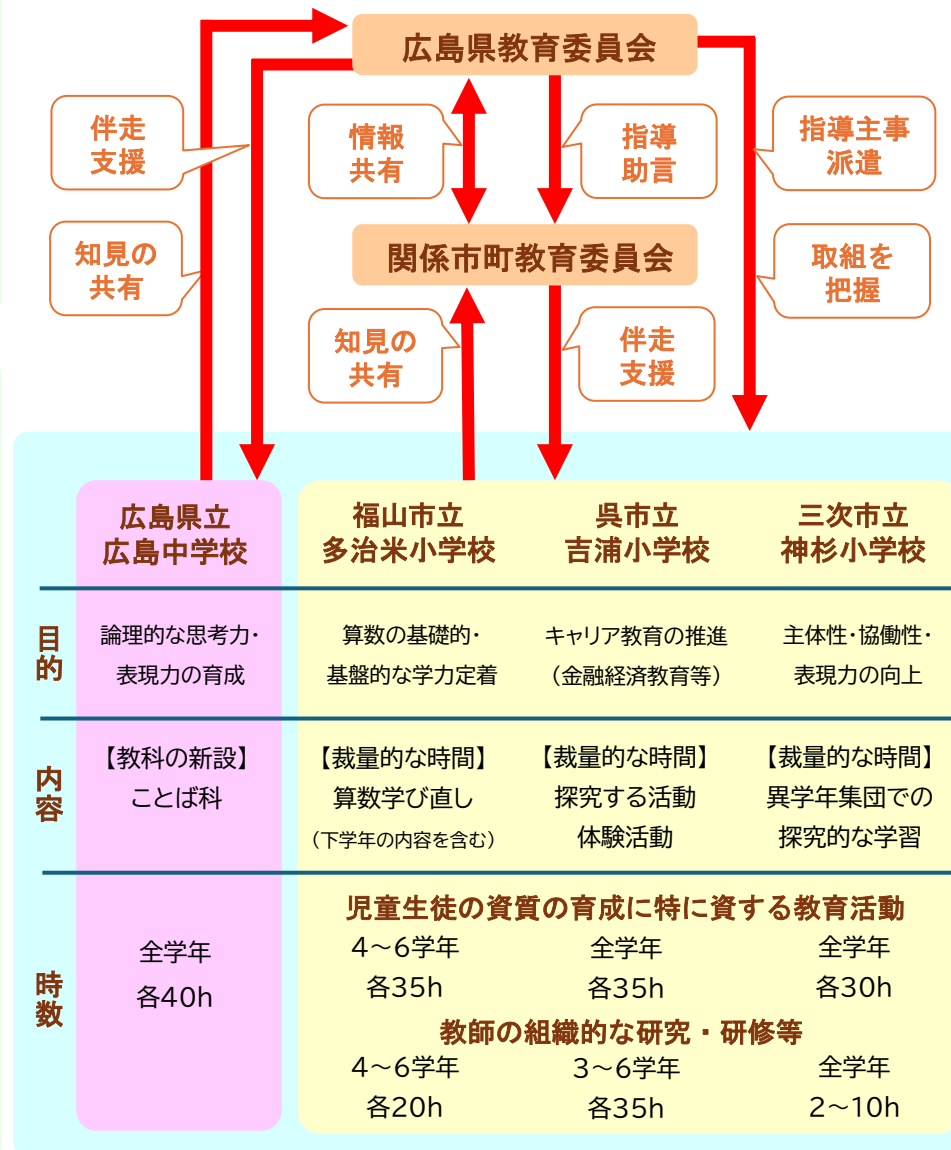
サキドリ研究校に対して指導助言を通じた伴走支援を行うとともに、管内の他校・他市町教育委員会・県教育委員会等への知見の共有や、アンケートへの回答による文科省への実績報告などを行う。

(※県立中学校への支援は県教育委員会が行う)

### ○指定校

編成する教育課程の趣旨及び内容について、地域や保護者への説明を行うなど適宜の方法により適切に説明責任を果たすとともに、知見を共有する。

## 広島県の指定校（広島市を除く）



## 3. 県教育委員会の支援体制等

### 指導主事の派遣

県教育委員会指導主事を市町教育委員会や指定校へ派遣し、取組を把握する。

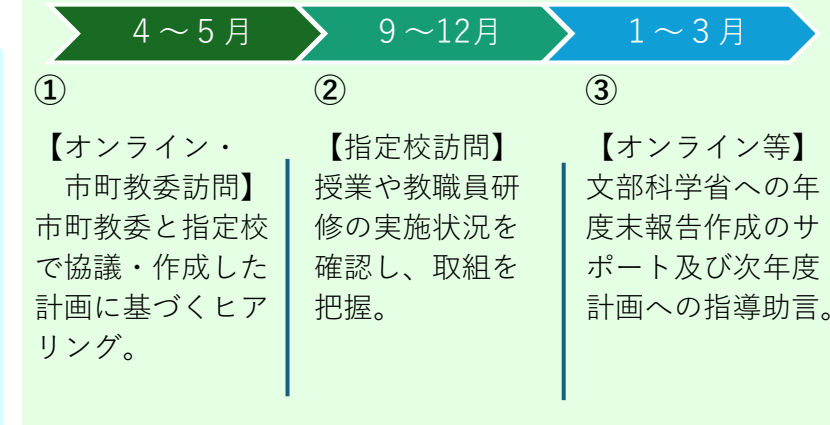
### 市町教育委員会への情報共有

市町教育委員会や指定校への訪問等により把握した情報を他の市町教育委員会へ共有する。

### 市町教育委員会への指導助言

学校への指導助言の方法・内容、管内の学校への共有等について、他の市町教委の取組を基に指導助言する。

## 4. 年間を通じた指導主事派遣等の計画



## 5. 令和9年度以降への活用展望

### 調整授業時数制度の創設に向けて広島版モデルの模索

○サキドリ研究校で得た知見を基に、全ての小・中学校が教育課程を柔軟に編成できるよう効果的な取組について、県内への普及を行う。

○ホームページ等を開設し、指定校の成果の普及を行う。